

0:00 死にたくないよ寝てなんかそんな言葉を 0:03 言ってたのかな違いますけどって思って 0:06 もうはっきり思いましたしねその9歳の壁 0:09 っていう言葉も私ちょっと正直知らなかつ 0:13 たのであの調べてみたんですよそしたら 0:15 あーもうこれはもう 0:17 娘には当てはまらない言葉だなってもう 9 0:20 歳の壁もちゃんと超えたって私はもう思つ 0:23 てましたのでねよくその 0:26 聴覚 0:26 障害者 0:27 学力知力を取るっていうその 0:30 断定ですよねこれはもうそれをイコールと 0:33 言うっていうこと自体も差別ですよね 0:36 偏見ですよねって单なるという風に思つ 0:39 たらもう怒りがこみ上げてきていやそんな 0:43 こと言ってますけどあなたたちは絢香の 0:46 11年間のこの 0:48 努力を 0:49 頑張りを全く知らないですよねってもう 0:52 本当にもう直接言いたい気持ちでいっぱい 0:56 でしたねもう本当にその言葉を言われから 1:00 はもう毎日その 1:02 悔しい感情を押し殺して生きていくのが 1:05 もう苦しくて苦しくて今現在もなんです 1:08 けどねよく相手もそういうことを堂々と 1:12 主張してきたなって思うんですよねで 1:15 やっぱり保険会社っていうのはやっぱり 1:19 会社の利益を考えてやっぱり1円でも 1:23 少なくしようっていう思うのがまあ会社と 1:26 してはそういうことなんでしょうけどだ 1:29 からといってね保険会社の会社員である前 1:33 にねやっぱり一人の人間として人として 1:37 やっぱり言つていいこと悪いことって 1:41 いうのはわかりませんかってあなたたち 1:44 そのお金のためなら何を言っても許され 1:47 るっていう歌詞いいなと思うんですよその 1:50 保険会社の社員である前に人としてどう 1:54 あるべきかその考えてほしいとそうです 1:56 すごく言いたいですね 2:01 この人権差別的な発言がどうしても私に 2:06 っては悔しくてたまらなかつたので当時 2:09 仕事しながら書く 2:11 報道者には電話で伝えてなんとか取り上げ 2:14 て欲しいと 2:16 訴えてきました僕 2:17 父親として 2:18 許せない言つたら10対0ですから娘の命 2:22 を奪われてなおも 2:24 聴覚障害があるからってひどいこと人権 2:27 差別的なこと言われてもうどうしても許せ 2:29 ないとにかく 2:30 娘の前で謝罪させたいというその気持ちで 2:33 いろいろやってきました朝日新聞の取材 2:36 を受けてその記事がきっかけで弁護団そこ 2:39 には耳の聞こえない弁護士の先生もおられ 2:42 ますまたそこから大阪 2:44 聴力 2:45 障害者協会大竹会長 2:47 筆頭に支援をさせてほしいという話もき 2:50 ましたで 2:51 署名活動すると結果1年半ぐらい続けて 2:56 署名活動をして 2:57 累計数11万5000 2:59 室照明が集まりました本当に私どもの 3:03 訴えが皆さん耳に届き感謝でいっぱい 3:06 です 3:08 最後の署名を 3:10 渡す時に言わせてもらいましたひどい差別 3:12 を言われてきましたけども 3:14 聴覚障害者のコミュニケーション 3:17 環境っていうのはいいように変わってきて 3:19 いる携帯端末使って 3:21 UDトークっていう便利な道具としてある 3:24 んですね相手側が言うコミュニケーション 3:27 取られへんからっていうような言い分は 3:30 もう古い話なんですねなので僕は 3:33 裁判所に対してもう現状今の時代は変わつ 3:37 てきているから 3:38 過去の判例にとらわれず今の現状を 3:42 ちゃんと理解した上でちゃんと判決して 3:45 くださいねとも強く言いました 3:49 はいということですねとても大切な話を 3:52 そうですね聞かせてもらったと思います 3:54 大きくね僕3つあったと思うんですけど 3:56 まず1つ目ですねご主人様が話されたこれ 4:00 今何時転換ですかこういう風なはいあの 4:04 病気を持ってる方でも簡単に 4:07 免許の更新ができてしまう 4:09 この分についてはどうですかねお話の中で 4:12 あつたりね 4:13 病院とやっぱり公安協会が連携してこれは 4:16 もう法律で決めて 4:18 免許これ持てませんということを公表せない 4:20 かんねぜひそのような運動していきたいな 4:23 と思います以前にもなんか鹿沼市の方で 4:25 同じような重機の 4:28 暴走事故があつてそこでもなんか5名6名 4:31 なくなられた事故が同じようなことがね 4:35 繰り返されないように国民の責任だと思い 4:37 ますよこういうことは2つ目が保険会社の 4:40 人権 4:42 侵害とも取れるような発言の部分ですよね 4:45 ここについてどう思われますか財産は 4:49 証券会社お金しか価値ないから人の心持つ 4:52 でないですねまずもう絶対思います 4:54 やっぱり人としてどうあるべきかと思うし 4:57 やっぱり保険会社の社員さんももっと自己 5:00 の主張してからかと人として悪いこと悪い 5:04 ダメなことはダメならぬことはならんので 5:07 あるからねそういうことをきっちりところ 5:09 に持って行動してほしいと思いますで僕で 5:12 ずっとまあお話をお聞きして感じたの 5:14 はお金じゃないんですよその 5:19 娘さんのね名誉だとかご夫妻が心の整理を 5:23 つけたいとかそういうとこなんですよ 5:29 お金のことしか言うてないからそこがね 5:33 そこが大きな問題ですよ三井住友海上に 5:36 言いたいのはやっぱり示談代行サービスと 5:39 してですね加害者の代理としてプロとして 5:42 入ってきてるわけですから 5:45 被害者の方の心情をですね 5:48 考慮したが発言だと対応だと本当に大事 5:51 なところは気持ちのところだと思うんです 5:53 よ 6:03 それはですねこの三井住友海上にですね 6:06 発信していきたいなと思いますね 6:09 それとあとやっぱり僕前から思ってるん 6:12 ですけどやっぱりねこの三井住友海上の 6:17 顧問弁護士がこの 6:18 被害者と相対することの 6:22 難しさこれあると思うんですよやっぱり 6:26 顧問弁護士はもう三井住友海上の方 6:29 ばっかり見て仕事をするわけですから三井 6:32 住友海上の利益というと1円でも支払い 6:36 保険金を減らすことじゃないですか 6:37 おっしゃる通りですねただね加害者の方は 6:40 そうじゃないと思うんですよそれはそう 6:42 ですいち早く 6:44 被害者の方はですね正当なね 6:47 賠償金を受け取つて普段の生活にね戻れる 6:50 ようにそういうことを求めてるはずなん 6:52 ですよんでこのね今の制度この 6:57 保険会社の 6:59 顧問弁ですが示談介入するというふうな 7:02 ところまで問題点がちょっとあるんじゃ 7:05 ないかなとこれものすごいありますね 7:07 もちろんねその適正な 7:09 賠償金よりも多くの賠償金払うとはそんな 7:12 は思わないんですけど 7:14 減らすために入つてくる弁護士なのかそれ 7:17 がね加害者のために 7:19 適正な賠償金はいくらなのかということを 7:22 調べるために入つて

くる弁護士なのがそう 7:25 ですねこれ全然違うと 7:27 これがね私ちょっと2つ目ちょっとと思った 7:30 ことですかねだから同じ 7:32 鑑定いうか料理のもとできっちり 7:34 話し合える弁護士同士やつたらね 何も問題 7:37 ないし加害者と被害者が当事者やねんから 7:39 保険会社なんか元々第三者や 7:43 契約に基づいて保険金払えよという話だね 7:46 加害者の方と 7:48 被害者の方と保険会社の方が向いてる 7:50 ところは違うくてですね 7:52 こちちょっとね保険会社の利益のために 7:55 介入してくるコーン弁護士のあり方これも 7:57 ちょっとねこの動画を通じて私ちょっと 8:00 発信していきたいなと思うんですね 8:08 出たと思いますでこれ最後ですね最後がご 8:12 主人様がおっしゃられてた時代が変わっ 8:14 てるんやと9歳の彼がいつも文献なんやと 8:18 ね今やあれですよ 8:21 携帯でねかざしたらもう対応でも韓国語で 8:25 もね 8:25 翻訳できるんですよで言葉でね話したら 8:29 日本語で翻訳されるよう 8:32 携帯電話でねその外国の方と話ができる 8:36 外国語の 8:38 教育イランのちゃうかと言われるような 8:41 時代なんですよ 8:45 27日これ判決がね下がるんですけども 8:49 そのようなですね 8:51 過去の 8:52 古いような 8:53 証拠が 8:54 重要な証拠として取り扱われてそのような 8:58 判決が出るのか今の時代に即したですね 9:02 判決が出るのか間もなくなんんですけど 27 9:05 日の判決 9:06 DA としてもねウォッチしていきたいと 9:08 思います私もそれについてはね 9:10 裁判官に言いたいねはい 9:12 裁判官は両親を持って判決を下して 9:15 ください 9:22 被害者の方がね一番望んでいることはお嬢 9:25 さんに対して 9:26 娘さんですねに対してきっちり 9:28 謝罪してほしいということですこれが一番 9:30 大事ですね保険会社としても加害者の代理 9:34 や言う以上 9:35 謝るの当たり前やからね人の心あるんやつ 9:37 たら 9:38 誤り 9:38 三井住友英語で言いますよやっぱりねそう 9:43 ですよお話をお聞きしてねもう娘さんと 9:46 お母さんがねこの娘さんがね 9:49 将来ハンディキャップを背負わないよう 9:51 いろんなね幼い頃から 9:54 努力してきた時間があってそれをね無視 9:58 するようなねそれが仕事とはいえですよ 10:00 仕事なのはわかるんですけどそれに対して 10:04 ですねまあ名誉をね回復するようなね 10:06 先ほども言いましたけどお金じゃないと 10:09 思うんですよこの娘さんとの 10:12 過去をね歩んできた日々それに対して 10:16 政治つけたい 10:17 ということが最も望んでいらっしゃること 10:20 じゃないかなと保険会社の公弁護士である 10:23 前に保険会社の社員である前に1人のね 10:26 人間としておっしゃる通りそこはね 10:29 ちょっとね三井住友海上の 10:32 代表取締役にもなんとおっしゃる方でし 10:34 たっけちょっとしちゃいました 10:41 この声届いてますでしょうかちょっとね 10:43 これはですねあなたの責任でもあるわけ 10:45 ですからこの娘さんの名誉が回復される 10:48 ようにねご両親の持ちがですね整理される 10:52 ように何らかの形で 10:54 答えていただきたいなと思います保険会社 10:56 は誰のために何のためにあるかいう原点を 10:58 もっと考えなあはい 11:02 ということでお願いします 11:12 ありがとうございましたありがとうございましたありがとうございました 11:14 ました

From: <https://wkvic.link/wv/> - 被害者の知識集成 - Wiki for Victim - 100人で一歩ずつ行きたい

Permanent link: https://wkvic.link/wv/doku.php?id=%E4%BA%A4%E9%80%9A%E4%BA%8B%E6%95%85:%E5%89%8D%E7%B7%A8_log&rev=1677657170

Last update: 2023/03/01 07:52

